時事新報

第千三百八十四號
明治十九年九月十八日 土曜日
舊丙戌八月廿一日（辛未）
月入午前九時四十六分
滿潮午前八時二十一分
滿潮午後八時三十七分
（西暦一千八百八十六年）

時事新報定價

一枚金三錢〇一箇月前金六十五錢〇三箇月前金一圓八十錢〇六箇月前金三圓四十錢〇一箇年前金六圓五十錢〇郵便税一箇月金廿六錢〇一箇年金三圓十二錢〇左ニ揭クル各地ニ於テハ該地賣捌所ヨリ遞送無料ニテ配達致候（但本社ヨリ直接郵送スルモノハ此限ニアラズ）

●東京・横濱・横須賀●神奈川、藤澤、大磯、小田原、函根七湯、韮山、修善寺、三島、沼津、原、吉原、興津、清水、静岡、濱松、島田、藤枝●大坂、京都、大津、和歌山、神戸、岡山、笠岡、尾ノ道、福山、廣島、徳島、高知、下ノ關、長崎●名古屋、岐阜、岡崎、豊橋、四日市、桑名、津、松坂、山田●仙臺、福島、二本松、白石、石ノ巻、函館●青森、弘前●高崎、小諸、岩村田、上田●宇都宮、鹿沼、八王子、千住、越ヶ谷、粕壁、杉戸、幸手、加須、關宿●千葉、佐倉、東金、八幡、船橋、市川

其他同地近傍配達便宜ノ個所ハ同シク遞送料不申受候

時事新報廣告料前金一行ニ付

一行廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上十五日迄	十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢二厘	六錢八厘
自十一行至三十行	九錢	七錢	六錢三厘	五錢九厘五毛
三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢五厘

時事新報

師範學校の生徒

本年四月九日第十三號勅令の公布に由り師範學校は大に面目を改め其經費の如きも是れまでは各府縣に於て專ら府縣會の議に任ぜし時として困難の事情もありしかども自今以後尋常師範學校の經費に要する地方税の額は府縣知事其豫算を調整し文部大臣の認可を受く可きとあるからには一層の重きを加へて府縣會に議決する所も必ず豊にして學校の維持は易く隨て教授も行届くことならん我輩の最も賛成して悦ぶ所なり

扨師範學校の仕組は右の如くにして之に入る可き生徒は如何なる種類の者なる可きやと尋るに富貴の子弟は入學することなかる可し如何となれば師範學校の目的は卒業の上專ら公立小學校長及び教員たるに在りて其地位高からざるが故に苟も身分資力ある父兄なれば其子弟のために小學校長教員の地位を求めざる可ければなり或は近年は徴兵云々の為めに少年を官公立學校に入るゝこと流行するが故に卒業後の成行は兎も角も差向きの一時の好手段として假令へ良家の子弟にても入校する者多かる可しとの説あれども師範學校の卒業生は卒業證書を受けたる日より向ふ十箇年は奉職の義務あるが故に富貴の子弟の身分に取りて考れば三年の兵役を遁るとても十年間小學校に服務とありては得失何とも決し難きことならん

左れば富貴の子弟は敢て其入校を望む可らざるも然るも尚ほこゝに一種の少年あり即ち士族の子弟にして此輩は平生就學の志あれども今日既に困窮して後來生計上に少しも目的なき者なれば師範學校にて衣食迄も給與して教育を授けらるゝことあれば必ず之に群集して入學を求ることならん且士族の子弟なれば其身こそ貧窮なれども祖先遺傳の教育も今尚消滅せずして自から氣品も高く成業の上は必ず順良信愛威重の氣質に乏しからざる教員たる可しと雖も扨此場合に至りても困難事は小學教員給料の一條なり小學校の經費は授業料及び寄附金等を以て支辨し不足の分は區町村費より之を補ふの法にして日本國民平均の實力にて多分の授業料を拂ふことも難く左ればとて限りなく區町村費を取立てゝ之を支辨することも相成らず何れにも小學校は節儉に節儉して維持するの外なかるざれば校長教員の俸給も必ず寡なかるを得べからざるや明なり近日各地方の内情を聞くに今の有様にては小學教員の月給を十二圓より以上にするは甚だ難かる可しと云ふ或は實事に近き豫算ならん若し此豫算にして大に違ふことなくんば師範學校の卒業生は服務十年の間毎月十二圓金を得るに過ぎず十八歳にして入校し就學四年二十二歳にして卒業始めて小學教員の務に服し是より十箇年の奉職三十二歳に至るまで月給十二圓にて僅に一身の衣食を支るのみにて固より以て家を成すに足らず前途の望淋たるものと云ふ可し但し十三號勅令の第十一條に尋常師範學校の卒業生を公立小學校長及び教員に任ず可きものあれども時宜に依りては各種の學校長及び教員に任ずることを得るとあり又本年五月二十八日文部省第十一號尋常師範學校卒業生服務規則第一條にも卒業生は十箇年間教職に從事するの義務ありとして小學教員と限らず其第二條に卒業生は五箇年間其の府知事縣令指定の學校に奉職するの義務を有するが故に卒業生の中抜群の者は各種の學校長又は教員に任せられて至當の俸給を得ることもある可きなれば隨分身の進退に窮することもなかる可しと雖も其中の幾部分は大体の法の如く小學校に服務せざるを得ず然るときに其幾部分の卒業生即ち小學教員は如何なる人品の者にてある可きや其者等は就學中都て公費に依頼して云はゞ公共に負債ある身分なれば其負債に報ずるに奉職の義務を以てするの姿にして必ず良教員なる可き筈なりと雖ども都て物品の性質は其價に相當するほど人間社會經濟の大主義にして容易に動かす可らず如何なる事情あるも如何なる理窟あるも物と價とは必ず相當の點に出ること不思議なるほどのものなるが故に今小學校にて教員の給料月に十二圓なれば様々の事情理窟は之を取除けて大体それ教員も亦十二圓内外の人品ならざるを得ず或は減じて六圓なれば六圓の人品を得べく、倍して二十四圓なれば二十四圓の人品を得べし俗に所謂金次第なれども前にも云へる如く日本國民の實力は今日尚未だ大に小學校に金を費すを得ず遺憾至極の事共なり依て我輩は一策を案して次號の紙面に記し以て大方の高評を乞はんとす

●官報

○農商務省告示第十八號（昨日の續き）

○第三十四項 獸類ノ傳染病名及其症候ハ左ノ如シ、

第一 牛疫（學語 Pestis Bovina 英國語 Cattle Plague 佛國語 Peste Bovine 獨國語 Rinder Pest）

牛疫ハ牛族特異ノ熱性傳染病ニシテ體中各部ノ粘膜ヲ侵シ就中消化器粘膜ニ特異ノ炎症ヲ呈シ牛族ヨリ他ノ反芻獸ニ傳染スルモノナリ此病ハ害毒ノ慘劇ナル傳播ノ迅速ナル斃死ノ夥多ナル獸類傳染病中最モ危險ノ症ナリトス」牛ノ此病ニ罹ルトキハ熱ヲ催スヲ以テ初起ノ症候トス即體温少シク増昇シ泌乳食慾共ニ減少シ倦怠シテ頭ヲ垂レ一二日ヲ經レハ加答兒ノ症候ヲ呈シ各部ノ粘膜特ニ紅ヲ潮シ反芻休止シ眼鼻口ヨリ液ヲ漏泄シ濕咳ヲ發シ漸々呼吸ノ數ヲ増シ三日乃四日ヲ經過スレハ赤痢樣ノ下痢ヲ起ス口腔及陰膣ノ粘膜麋起シテ其面ニ粟粒大乃至豌豆大ノ黯白色ノ小點ヲ發シ乾酪樣ノ滲出物之ヲ覆フ此乾酪樣ノ質ハ容易ニ剝脱シ爛斑ヲ現ハシ其他粘膜ニ赤色ノ線狀若クハ斑點ヲ見ルコアリ以上ノ症候漸次亢進スルニ從ヒ眼鼻口ノ分泌液愈増加シ呼吸益困難ヲ加ヘ下痢甚シク終ニ虛脱シテ斃ル、第二 炭疽熱（學語 Anthrax 英國語 Anthrax 佛國語 Charbon 獨國語 Milzbrand）炭疽熱ハ急性傳染病ニシテ瘴氣毒ヨリ起リ草食獸ニ發シ又他ノ畜類及人ニ傳染ス此病ハ俄然發スルモノ多ク其急性ナルハ動物頓ニ卒倒シテ斃ルゝ五分乃至十分間ニ在リ、又途中若クハ夜間ニ發病シ鼻、口、及肛門ヨリ血液ヲ漏シテ斃ルゝモノアリ或ハ初起食慾、泌乳共ニ減少シ體溫増昇シ外部ノ温度定マラス戰慄ヲ發シ各部ノ粘膜甚シク紅ヲ潮シ若クハ帶黄色ヲ呈シ糞ニ血液及粘液ヲ混シ呼吸疾促、脈搏増進、大ニ狂亂苦悶シ往々痲痛ヲ併發シ或ハ痴鈍トナリ或ハ感覺ヲ失フ斯ノ如キ場合ニ於テハ一般ニ熱勢亢進シテ衰弱ヲ加ヘ鼻口及肛門ヨリ血液ヲ漏泄シテ終ニ斃ル稀ニハ快復スルモノアリ或ハ熱度増進シ皮膚ニ一箇若クハ數箇ノ腫瘍ヲ發ス其状圓クシテ凸隆シ熱痛ヲ帶ルモ忽チ減退ス試ニ之ヲ壓スレハ氣音ヲ發シ之ヲ截開スレハ帶黄色ノ液ヲ漏ス或ハ舌、咽喉若クハ肛門ニモ亦之ヲ發スルコトアリ、第三 鼻疽及皮疽（學語 Malleus Humidus et Farciminosus 英國語 Glanders and Farcy 佛國語 Morve et Farcin 獨國語 Rotz and Wurm） 鼻疽及皮疽ハ馬族特異ノ傳染病ニシテ二者同性ノ症ナレヒ只其患部ヲ異ニシ互ニ誘發スルモノナリ即鼻疽ハ專ラ鼻粘膜、肺及水脉系ヲ侵シ皮疽ハ皮膚皮下結締織及水脉系ヲ襲フモノニシテ此病ハ人、羊、山羊、兎及其他ノ畜類ニ傳染ス」鼻疽ノ主徴ニ三アリ（其一）鼻ノ一孔若ハ兩孔ヨリ少量ノ粘稠液ヲ漏泄ス其液ハ一種特異ノ膿樣液ニシテ其狀宛モ菜種油ニ蛋白ヲ混シタルカ如シ（其二）顎下水脉腺腫脹ヲ發シ概子下顎骨ノ内側ニ固着メ釀膿セス（其三）鼻粘膜ニ惡性潰瘍ヲ生ス當初ニ在テハ帶黄色ノ小膿疹若クハ小結節ナルモ増大破爛シテ潰瘍ニ變ス其瘍底ハ凹陷シテ豕脂狀ヲ呈シ少量ノ惡性膿ヲ漏ス病勢亢進スルニ從ヒ啻ニ鼻粘膜ヲ侵スノミナラス咽喉、肺、氣管支、喉嚢、及ヒ頭ノ諸骨ニ波及シテ各其症候ヲ呈ス末期ニ至レハ呼吸困難ヲ加ヘ咳嗽頻發皮膚粗剛、毛色光澤ヲ失ヒ全身漸ク羸弱ス」皮疽ハ皮膚ニ局發シテ多ク四肢、頭、頸、胸、腹或ハ其他ノ部位ノ皮下ニ豌豆大乃至胡桃大ノ結節ヲ發生シ初ハ硬固ニシテ且疼痛アリ然レヒ漸次其結節ノ中心ヨリ破潰シ黄色ノ液ヲ漏泄シ皮上ニ凝着シテ痂ヲ結ヒ而シテ其瘍面ヨリ絶ヘス膿汁ヲ漏泄ス病勢亢進スレハ腫瘍累發シテ體ノ諸部ヲ侵シ終ニ潰爛シテ血液ヲ漏ラスコトアリ其ノ他各潰瘍ニ連絡セル水脉管ハ腫起シテ索狀ヲ呈シ水脉線亦タ腫脹ス而シテ久シキヲ經レハ大ヒニ羸弱シテ遂ニ斃ル、第四 傳染性胸膜肺炎（學語 Peripneumonia Contagiosa 英國語 Contagious Pleuro-Pneumonia 佛國語 Peripneumonie Contagieuse 獨國語 Lungen Seuche）傳染性胸膜肺炎ハ牛族特異ノ熱性傳染病ニシテ概子左肺ノ一葉ヲ侵シ其小葉間質ノ滲出炎ヲ發シ尋イテ胸膜炎ヲ續發ス」此病ノ徴候ヲ大別シテ二期トス即第一期ハ短濕ノ咳嗽ヲ發シ漸々其數ヲ増シ濕聲ノ痛咳頻發シテ體温亢進シ呼吸疾促、食慾、泌乳共ニ減少シテ病勢増進ス第二期ニ至レハ熱勢大ニ亢進シテ胸膜肺炎ノ諸徴尤明瞭トナリ鼻端乾燥シ耳角ノ冷熱定マラス食慾反芻泌乳共ニ休止シ通便秘澁前肢ヲ開張シテ起立シ臥スコトヲ欲セス鼻孔開豁シ脇部ノ波動甚シク呼吸スル毎ニ呻吟ス試ミニ背腰、及肋間部ヲ壓スレハ苦悶ヲ訴ヘ病久キヲ經レハ呼吸益困難ヲ加ヘ倦怠羸痩甚ク下痢ヲ發シ呼氣臭ヲ帶ヒ漸次虛脱シテ斃ル、第五 傳染性鵝口瘡（學語 Aphthis Contagiosa 英國語 Foot and Mouth disease 佛國語 Stomatite Aphtheuse 獨國語 Maul und Klauenseuche）傳染性鵝口瘡ハ瘴氣性發疹傳染病ニシテ雙蹄獸ヲ發シ熱ヲ帶ヒテ口内趾端或ハ乳房等ニ水疱ヲ局發ス」此病ニ罹ルトキハ初メ發熱シ食慾反芻共ニ減少或ハ休止シ口内、趾端乳房或ハ鼻端等ニ忽チ大小許多ノ水疱ヲ發ス該疱破潰スレハ初メ澄液ヲ漏シ後ニ至レハ溷濁シ膿樣ノ液ニ變ス或ハ口内ニ水疱ヲ發スルトキハ其粘膜剝脱シテ紅色ノ爛斑ヲ呈シ頻ニ唾液ヲ漏ス而シテ蹄間或ハ蹄冠部ヲ侵シ甚シキニ至ラハ跛趨トナル此病ノ經過ハ概ネ二周間許トス、第六 羊痘（學語 Variola Ovina 英國語 Sheep Pox 佛國語 Clavelle 獨國語 Schaf Pocken）羊痘ハ熱性發疹傳染病ニシテ皮膚ニ痘ヲ發生シ羊族ニ
蔓延シ大ニ猖獗ヲ
シ此病ハ初メ發熱
シ體毛ノ稀疎ナル
呈シ豆大ノ痘ヲ發
膿成シ後膿化シ終
シテ脱落ス（

○軍艦着港 比叡
艦せり

●流行地虎列刺

流行地
京都府丹後國 同九
大坂府 内四區西成郡ニ 同
神奈川縣 内横濱區ニ新 同
兵庫縣 内神戸區ニ新患 同
長崎縣 内長崎區ニ新患 同
埼玉縣 同
千葉縣 同
茨城縣 同
秋田縣 同
福井縣 同
岡山縣 同
廣島縣 同
山口縣 同
和歌山縣 同
愛媛縣 同
高知縣 同
福岡縣 同
佐賀縣 同
函館支廳 同
小計新患七百二
新潟縣 内新潟區ニ新 九
長野縣 同
青森縣 同
山形縣 同
石川縣 同
富山縣 同
島根縣 同
高知縣 同
福岡縣 同
小計新患四百
高知縣 同同同
福岡縣 同
同 同
小計新患百二
合計 新患千三

○流行地外虎列刺
迄新患十四人、
日新患十一人、新
入」愛知縣去る十
去る十三日より十
る十五日新患一人
亡七人」鳥取縣去
去る十四日新患八人
十六人、新舊死亡

○新川開鑿 東京
の事業は防火と以
其の線路たる一
經て神田川に通ず
橋の川筋を經て淺
度に於て始めて工
八年度に於て其の
幅員濱町川は八間
費金二十萬四千六
八千十九圓六十七
七十三圓九十錢八
り四千九百七十二
一圓一錢一厘と支
れる費用金十二萬
お仰ぎ又其の成
の西岸とに防火の
りの其の延焼を遮
復頗る頻繁を極め

○恤救成績 島取
規則に據り救助せ
にして此の救助米
税を以て救助せる
米五十石三斗三升
女一人此の費金四
の費金十九圓五十